



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場会社名 株式会社メイテック 上場取引所 東
 コード番号 9744 URL https://www.meitec.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國分 秀世
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 上村 正人 TEL 03-6778-5023
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	100,995	3.3	12,926	2.3	12,975	2.6	9,093	3.0
2019年3月期	97,736	4.4	12,635	10.3	12,643	10.3	8,829	8.6

(注) 包括利益 2020年3月期 9,271百万円 (3.3%) 2019年3月期 8,974百万円 (8.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	328.36	—	21.0	17.1	12.8
2019年3月期	315.43	—	21.4	17.4	12.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	77,493	44,327	57.2	1,606.03
2019年3月期	74,615	42,371	56.8	1,518.42

(参考) 自己資本 2020年3月期 44,327百万円 2019年3月期 42,371百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	9,837	△536	△7,319	47,033
2019年3月期	10,273	△240	△6,734	45,052

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	84.00	—	115.50	199.50	5,567	63.3	13.6
2020年3月期	—	86.50	—	115.50	202.00	5,575	61.5	12.9
2021年3月期(予想)	—	65.50	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想は、現時点で合理的に見積られる第2四半期(累計)の業績予想に基づき中間配当予想のみ開示し、期末配当予想は、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,600	0.0	4,600	△23.4	4,600	△23.6	3,000	△24.5	108.69

(注) 2021年3月期の連結業績予想は、現時点で合理的に見積られる第2四半期(累計)の業績予想のみ開示してあります。詳細は添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	29,000,000株	2019年3月期	29,300,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,399,519株	2019年3月期	1,395,169株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	27,693,373株	2019年3月期	27,991,911株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年4月1日～2020年3月31日)においては、当社の主要顧客である大手製造業各社で、景況に左右されることなく、次代を見据えた技術開発投資を持続される企業が多く見られました。また、今年度特有の祝日等による稼働日数の減少や、時間外労働減少による稼働時間の低下等はあったものの、採用に尽力した結果、エンジニア社員は増員となり、堅調な受注環境の下、稼働人員数が順調に増加しました。

その結果、連結売上高は前年同期比32億59百万円(3.3%)増収の1,009億95百万円となりました。連結売上原価はエンジニア社員の増員による労務費増加等を主因に前年同期比21億22百万円(3.0%)増加の738億23百万円、連結販売費及び一般管理費は一時的なシステム費用の増加等により、前年同期比8億45百万円(6.3%)増加の142億45百万円となりました。この結果、連結営業利益は前年同期比2億90百万円(2.3%)増益の129億26百万円、連結経常利益は前年同期比3億31百万円(2.6%)増益の129億75百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比2億64百万円(3.0%)増益の90億93百万円となりました。

なお、詳細につきましては、弊社ウェブサイトに掲載している2020年3月期「通期決算」説明資料を参照下さい。

セグメントの業績は次のとおりです。

① エンジニアリングソリューション事業

連結売上高の9割超を占めるエンジニアリングソリューション事業、特に中核事業のエンジニア派遣事業においては、稼働日数の減少および稼働時間低下等はあったものの、稼働人員数の増加を主因に、売上高は前年同期比33億55百万円(3.5%)増収の994億61百万円となりました。営業利益は一時的なシステム費用の増加等もあり、前年同期比4億16百万円(3.5%)増益の124億92百万円となりました。

当社単体の稼働率(全体)は96.4%(前年同期97.5%)となり、前年同期比で減少しました。また、稼働時間については大手企業のワークライフバランスの取り組み等により時間外労働が減少し、8.54h/day(前年同期8.62h/day)と前年同期比で低下しました。

② エンジニア紹介事業

エンジニアに特化した職業紹介事業を行っている株式会社メイトックネクストにおいては、紹介決定数の減少により、売上高は、前年同期比1億23百万円(7.0%)減収の16億39百万円、営業利益は前年同期比1億25百万円(22.5%)減益の4億34百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の状況

当連結会計年度末(2020年3月31日)の資産合計は、前連結会計年度末(2019年3月31日)比で28億77百万円増加し、774億93百万円となりました。これは、流動資産が前連結会計年度末比で26億42百万円増加した事が要因です。

なお、流動資産の増加は現金及び預金の増加などが主因です。

②負債の状況

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末比で9億21百万円増加し、331億66百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で3億1百万円増加し、固定負債が前連結会計年度末比で6億20百万円増加した事が要因です。

なお、流動負債の増加は消費税に伴う未払消費税等の増加などが主因であり、固定負債の増加は退職給付に係る負債の増加などが主因です。

③純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末比で19億56百万円増加し、443億27百万円となりました。これは、当期の経営成績の結果による親会社株主に帰属する当期純利益の獲得に、配当金の支払及び自己株式の取得の影響が相殺された事などが主因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比19億80百万円増加の470億33百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、前連結会計年度比4億36百万円減少の98億37百万円となりました。

得られた資金の主な内訳は、税金等調整前当期純利益などによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は、前連結会計年度比2億95百万円増加の5億36百万円となりました。

使用した資金の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出3億23百万円と無形固定資産の取得による支出1億8百万円です。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は、前連結会計年度比5億85百万円増加の73億19百万円となりました。

使用した資金の主な内訳は、自己株式の取得による支出17億12百万円と配当金の支払額56億7百万円です。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響で受注環境の先行きは不透明ですが、直近の稼働状況や見通しを踏まえつつ、新入社員の配属が例年より遅れる事を合理的に見積れる2021年3月期第2四半期累計迄の連結業績予想を公表します。通期連結業績予想は、先行きが不透明の為、公表を見送ります。

なお、現時点の第2四半期累計の業績予想の詳細につきましては、弊社ウェブサイトに掲載している2020年3月期「通期決算」説明資料を参照下さい。

ご注意：本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は国内中心であることから、当面は、日本基準を適用する方針です。ただし、今後も、投資家の要望や国内他社のIFRS(国際財務報告基準)の採用動向などを踏まえ、会計基準の選択に関する検討を継続する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,052	47,033
受取手形及び売掛金	13,884	14,696
仕掛品	170	154
その他	931	798
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	60,036	62,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,601	3,533
工具、器具及び備品(純額)	176	309
土地	1,487	1,487
その他(純額)	136	2
有形固定資産合計	5,402	5,332
無形固定資産		
ソフトウェア	699	567
その他	43	20
無形固定資産合計	742	588
投資その他の資産		
投資有価証券	27	27
繰延税金資産	7,640	8,062
その他	779	816
貸倒引当金	△14	△12
投資その他の資産合計	8,433	8,893
固定資産合計	14,579	14,814
資産合計	74,615	77,493

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
未払費用	3,363	3,124
未払法人税等	2,272	2,344
未払消費税等	1,418	2,339
役員賞与引当金	233	238
賞与引当金	7,697	7,959
その他	1,942	1,221
流動負債合計	16,927	17,228
固定負債		
退職給付に係る負債	15,317	15,937
固定負債合計	15,317	15,937
負債合計	32,244	33,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,198	7,927
利益剰余金	35,469	38,952
自己株式	△5,495	△5,929
株主資本合計	44,173	45,950
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△662	△662
退職給付に係る調整累計額	△1,139	△961
その他の包括利益累計額合計	△1,802	△1,623
純資産合計	42,371	44,327
負債純資産合計	74,615	77,493

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	97,736	100,995
売上原価	71,701	73,823
売上総利益	26,035	27,171
販売費及び一般管理費	13,399	14,245
営業利益	12,635	12,926
営業外収益		
受取利息	1	1
助成金収入	—	38
その他	13	15
営業外収益合計	15	55
営業外費用		
支払手数料	3	2
コミットメントフィー	2	2
その他	1	2
営業外費用合計	7	6
経常利益	12,643	12,975
特別利益		
投資有価証券売却益	11	—
関係会社清算益	14	—
その他	0	—
特別利益合計	26	—
特別損失		
減損損失	15	—
固定資産除却損	3	3
特別損失合計	18	3
税金等調整前当期純利益	12,651	12,971
法人税、住民税及び事業税	4,197	4,367
法人税等調整額	△375	△489
法人税等合計	3,822	3,878
当期純利益	8,829	9,093
親会社株主に帰属する当期純利益	8,829	9,093

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	8,829	9,093
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4	—
退職給付に係る調整額	149	178
その他の包括利益合計	145	178
包括利益	8,974	9,271
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,969	9,271
非支配株主に係る包括利益	5	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	11,955	31,873	△6,750	42,078
当期変動額					
剰余金の配当			△5,233		△5,233
親会社株主に帰属する当期純利益			8,829		8,829
自己株式の取得				△1,502	△1,502
自己株式の処分		0		0	0
自己株式の消却		△2,757		2,757	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2,757	3,596	1,255	2,094
当期末残高	5,000	9,198	35,469	△5,495	44,173

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△662	9	△1,288	△1,942	2	40,139
当期変動額						
剰余金の配当						△5,233
親会社株主に帰属する当期純利益						8,829
自己株式の取得						△1,502
自己株式の処分						0
自己株式の消却						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	△9	149	140	△2	137
当期変動額合計	—	△9	149	140	△2	2,231
当期末残高	△662	—	△1,139	△1,802	—	42,371

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	9,198	35,469	△5,495	44,173
当期変動額					
剰余金の配当			△5,610		△5,610
親会社株主に帰属する当期純利益			9,093		9,093
自己株式の取得				△1,705	△1,705
自己株式の消却		△1,271		1,271	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1,271	3,482	△434	1,777
当期末残高	5,000	7,927	38,952	△5,929	45,950

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△662	△1,139	△1,802	42,371
当期変動額				
剰余金の配当				△5,610
親会社株主に帰属する当期純利益				9,093
自己株式の取得				△1,705
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	178	178	178
当期変動額合計	—	178	178	1,956
当期末残高	△662	△961	△1,623	44,327

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12,651	12,971
減価償却費	534	562
減損損失	15	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	18	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	241	261
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△4	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	914	866
受取利息及び受取配当金	△1	△1
助成金収入	—	△38
投資有価証券売却損益 (△は益)	△11	—
固定資産除却損	3	3
関係会社清算損益 (△は益)	△14	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△68	△811
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9	16
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△208	132
未払費用の増減額 (△は減少)	35	△238
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2	921
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	304	△595
その他	57	44
小計	14,474	14,099
利息及び配当金の受取額	1	1
法人税等の支払額	△4,225	△4,302
法人税等の還付額	22	0
助成金の受取額	—	38
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,273	9,837
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△135	△323
無形固定資産の取得による支出	△72	△108
固定資産の除却による支出	△0	△0
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△64	△103
その他	31	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,505	△1,712
配当金の支払額	△5,228	△5,607
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,734	△7,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,298	1,980
現金及び現金同等物の期首残高	41,753	45,052
現金及び現金同等物の期末残高	45,052	47,033

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、当社グループの中核事業であるエンジニア派遣事業を中心として、その内容と市場の類似性を考慮して「エンジニアリングソリューション事業」、「エンジニア紹介事業」の2つを報告セグメントとしております。

「エンジニアリングソリューション事業」については、エンジニア派遣事業を中心に行っております。

「エンジニア紹介事業」については、エンジニアに特化した職業紹介事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング ソリューション事業	エンジニア紹介事業	
売上高			
外部顧客への売上高	96,100	1,636	97,736
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	126	132
計	96,106	1,762	97,869
セグメント利益	12,075	560	12,635
セグメント資産	73,081	1,557	74,638
その他の項目			
減価償却費	514	19	534
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	329	19	349

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリングソリューション事業	エンジニア紹介事業	
売上高			
外部顧客への売上高	99,453	1,542	100,995
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	96	104
計	99,461	1,639	101,100
セグメント利益	12,492	434	12,926
セグメント資産	75,919	1,591	77,510
その他の項目			
減価償却費	546	15	562
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	309	4	313

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	97,869	101,100
セグメント間取引消去	△132	△104
連結財務諸表の売上高	97,736	100,995

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,635	12,926
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の営業利益	12,635	12,926

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	74,638	77,510
セグメント間取引消去	△23	△17
連結財務諸表の資産合計	74,615	77,493

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	534	562	—	—	534	562
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	349	313	—	—	349	313

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,518.42円	1,606.03円
1株当たり当期純利益金額	315.43円	328.36円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	8,829	9,093
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	8,829	9,093
普通株式の期中平均株式数(千株)	27,991	27,693

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計(百万円)	42,371	44,327
純資産の部の合計額から控除する金額(非支配株主持分)(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	42,371	44,327
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	27,904	27,600

(重要な後発事象)

該当事項はありません。